

平成25年度 校内評価実施報告

香川県立三豊工業高等学校

1 平成25年度学校評価の重点目標

分野	重点目標
1 教育活動	① 基礎的・基本的な知識や技術を確実に身につけさせる。
	② ものづくりスペシャリストの育成を進めるとともに、各種資格・検定に積極的に挑戦させる。
	③ 部活動や行事に積極的に取り組ませる。
	④ 規律やマナーを一層身につけさせる。
2 学校運営	⑤ 校務の効率化を図り、生徒と向き合うことができる時間を確保する。
	⑥ 積極的に情報発信し、地域との連携・協力を図りながら信頼される学校を目指す。

2 評価のまとめ

※数値評価は(4:大変よくできている 3:できている 2:ややできていない 1:できていない)の平均

項目	校内評価委員平均	成果について	課題	学校評議員評価平均
1	① 3.4 ↙	基礎学力不足の生徒には個別の学習指導を行い一定の成果を挙げ、欠点保有者が減少傾向にある。基礎学力向上に向け学校設定教科の立ち上げを決めたことは、一つ前進と考えてよい。	<ul style="list-style-type: none"> ・早い時期からの個別指導の強化。 ・外部の模擬テストなどの導入。 ・家庭学習習慣を付けさせる。 ・授業規律を高め、効率のよい授業を目指す。 ・単に成績をあげるのではなく、知識を高めたいという向上心を付けさせる 	3.2
	② 3.9 ↙	ものづくりの各種競技会で、成果をあげている。資格試験等にも一定の合格率を維持できている。課外等を多く行い難関資格に合格者をだすことができた。先輩講話・進路の講演を通して生徒の意欲の向上を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導する教員の負担の増加 ・課外授業と部活動との両立 ・教師主体から生徒主体への転換 ・ものづくりをもっと多くの生徒に広げる ・より高度な資格試験への挑戦 ・ものづくりスペシャリスト育成に対する意識を学校全体として高める 	4.2
	③ 3.6 ↙	課題研究やものづくりに直結した部活動は、各種大会で好成績をあげたり、交流活動の実績を残した。授業以外で、別の活躍する場を与えられ、生徒は達成感と自信を深めて、自己肯定感を高める活動となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の多忙化 ・退部した生徒への対応 ・部員の確保 ・不参加生徒への対応 ・文化部の活性化 ・部活動の日の運用をどうするのか 	4.0
	④ 3.1 ↙	ペナルティを課すことによって遅刻が大幅に減った。欠席も減少した。運動部を中心に挨拶のできる生徒が増えつつある。指導に素直に従う生徒が多くなった。怠惰な理由で保健室に来室する生徒がかなり減少し、予鈴で移動し授業に備えられている。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導面で問題のある生徒の固定化 ・非協力的な保護者への啓発 ・生徒会と協力した規律・マナーの指導 ・マナーアップに対する教員の意識高揚 ・自転車・スマホの指導 ・職員全体の指導意識の共有化 	3.8
2	⑤ 3.4 ↙	放課後は、進学課外や資格取得課外、個別の学習指導等に時間を取ることができ、成果が表れていると思う。一つの職員室、小規模校の特長が生かされ、職員間、分掌間の連携がよくとれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・一部教員への業務集中 ・資格試験の課外授業と部活動の両立 ・部活動の日の運用 ・業務遂行のカバー(セーフティネット)のシステム作り 	3.3
	⑥ 3.8 ↙	facebookについては賛否があるが、今のところ順調に情報発信が行えており、プラスに働いている。各種の交流行事が、目的を維持したまま継続している。特に、特別支援学校との交流は、外部からも高く評価された。出前授業、観音寺冬の祭りでの電子科製作のイルカのイルミネーション、サイエンスフェスタ、持久歩大会などで地元の人から本校が認知されてい	<ul style="list-style-type: none"> ・三豊工だより等、保護者に届いているかどうかの確認 ・個人情報保護の確認 ・懸垂幕の設置をスムーズに行う ・発信する情報の検討・精選 ・より多くの生徒にイベントに参加させるように裾野を広げる 	3.8

3 評価結果の検証

昨年と同じ6項目を重点目標に掲げたが、その中でも今年度は各分掌、教科の自己評価の具体的目標を、基礎学力の向上、規律やマナーの向上、校務の効率化を図り生徒と向き合う時間を確保するなど、項目①④⑤に直接係わるものにし重点的に取り組んだ。その結果、①④については向上し、⑤については昨年度と同じであったが、教職員からは目に見える改善があったとの意見が多かった。また、課題についても具体的な内容が出され、来年度の取り組みについての大きなヒントが得られた。来年度は、さらにこれらの課題を改善できるように取り組みたいと考えている。

4 学校評価年間実施計画

月	内 容
4月	●第1回学校評価委員会 (4/23) 重点目標の設定、学校評価計画・自己評価様式の検討 ◎自己評価の具体的目標・取り組み・評価基準の設定 (各分掌・教科・学科)
5月	□公開授業週間 (5/7～11) 授業参観・PTA総会 (5/11) ▲第1回保護者アンケート
6月	・三豊工だよりで保護者に学校評価の重点目標と公開授業週間アンケートの結果周知 ▼第1回学校関係者評価委員会 [学校評議員会] (6月中旬)
7月	
9月	◎自己評価 (中間評価) の実施 中間評価とそれを受けての取り組み
10月	□公開授業週間 ◆第1回生徒による授業評価 (10/21～25) ▲第2回保護者アンケート
11月	▼第2回学校関係者評価委員会 [学校評議員会] (サイエンスフェスタ)
12月	■学校評価アンケート [外部アンケート (保護者・生徒)・教職員] ◎自己評価 (期末評価) の実施 期末評価とそれを受けての課題や改革案
1月	・自己評価表・外部アンケートの結果の分析及び改善策の検討
2月	▼第3回学校関係者評価委員会 [学校評議員会] (2月17日 (月))
3月	●第2回学校評価委員会 (3月18日 (月)) 学校関係者評価や校内評価を踏まえての改善策や重点目標の検討・見直し ・報告書の作成 ・報告 (設置者へ) ・公表 (三豊工だより・HP等で)

5 添付資料

- (1) 公開授業アンケート結果 (保護者対象、5月実施)
- (2) 授業アンケート結果 (生徒授業評価、10月実施 (本年度より年1回実施))
- (3) 学校評価アンケート結果 (①生徒、②保護者、③教職員、12月実施)

公開授業週間アンケート結果〔25年5月実施〕

- a よくあてはまる b ややあてはまる
 c あまりあてはまらない d まったくあてはまらない e 診断できない(分からない)

平成25年度
回答者数(44名)【%】

1 授業を参観しての感想		a	b	c	d	e
(1)	生徒は授業に真剣に取り組んでいた。	30.2	62.8	7.0	0.0	0.0
(2)	生徒は授業の内容が分かっていた。	16.7	69.4	13.9	0.0	0.0
(3)	先生方は、分かり易い授業を行うために教材の工夫や学習方法の工夫をしていた。	27.8	66.7	5.6	0.0	0.0
(4)	先生方は、生徒一人ひとりに気を配った授業を行っていた。	43.6	51.3	5.1	0.0	0.0
(5)	教室や校舎内外の環境はきれいであった。	31.0	52.4	16.7	0.0	0.0
(6)	授業参観は子どものことが分かってよかった。	42.9	54.8	2.4	0.0	0.0

2 本校の教育活動について		a	b	c	d	e
(1)	子どもは楽しく学校生活を送っていますか。	41.5	53.7	4.9	0.0	0.0
(2)	学習活動、学校行事等で特色ある教育活動が行われていると思いますか。	35.9	53.8	10.3	0.0	0.0
(3)	進路指導や生活指導等で、保護者との連携が図られていると思いますか。	16.1	61.3	22.6	0.0	0.0
(4)	部活動は、活発に行われていると思いますか。	52.5	37.5	10.0	0.0	0.0
(5)	本校の教育活動(内容)が十分に周知されていると思いますか。	22.9	60.0	17.1	0.0	0.0

3 本校の情報発信について(平成25年度)

(1)	三豊工だよりをご覧になっていますか。	はい	75	いいえ	6.8	渡してくれない	18.2		
(2)	本校ホームページをご覧になったことがありますか。	よく見る	20.5	時々見る	61.4	全く見ない	9.1	見る環境がない	7.1
(3)	(3)で「よく見る」、「時々見る」と答えた方は、どの環境でご覧になっていますか。	携帯電話	52.6	パソコン	47.4				

平成25年度 生徒による授業評価アンケートの意見（10月実施）

○生徒からの「授業評価」についての総括・分析および授業改善

- ・特に大きな問題はないようだが、「難しい内容に工夫をする」必要が更にあるようだ。
- ・進度が早いという意見が多かった。テスト範囲を意識するあまり、進度が早すぎるときがあるので、生徒の状況をみながら改善していきたい。
- ・授業のスピードが少し速いという指摘があった。
- ・項目5の評価が低く、授業中における生徒の理解を目標としているが、それが達成されていない。
- ・項目2について、2年生物理基礎で低くなっており、自己評価における学習態度および学習内容に対する理解度に依存していると考えられる。
- ・授業評価においては、項目1の評価が相対的に高く、項目4の評価が低い。
- ・生徒には説明の声はよく届いているが、頭や心にはその声が届いていないことがよくわかる。
- ・生徒の自己評価においては授業に対する基本的な姿勢はある程度はできているが、居眠りをしたり予習・復習ができていない生徒が比較的多い。理科に対する関心の低さの顕れである。
- ・1つ1つの項目について真剣に答えているかどうか疑問に感じる回答がある。
- ・授業に関して生徒の反応を見ながらできていないと感じた。

○授業改善に向けてどのように生かしていくか

- ・難しい内容には更に工夫をして、わかりやすい授業を心がけたい。
- ・数学が必要であるという意識付けを行っていきたい。
- ・具体的な記述がなかったので、分かりにくい部分もあるが、生徒との対話を大切にして授業を進めていきたい。
- ・生徒への質問を増やし、理解を確認しながら進めたい。
- ・授業中に生徒の発表を引き出す発問や、基礎演習シートの活用を進める。
- ・学習意欲が低く、授業内容を十分に理解できていない生徒が多い。内容の絞り込みと授業の展開を工夫して、関心をもって授業に参加する生徒が増えるように努めたい。実験をできる範囲で取り入れたい。
- ・授業態度の良くない者、成績の芳しくない者の中に、授業評価の低いものがいた。授業が分かりづらい、おもしろくないと感じているため、授業に集中できなかつたり、成績が芳しくないのだと感じた。生徒の立場に立って授業を見直していくべきと真摯に捉えたい。
- ・生徒が理解するのに難しかったり、時間がかかりそうな内容についてはもう少し、丁寧に詳しく取り扱うようにしたい。また、生徒に質問する時間をもっと増やさないといけないと感じた。

○アンケート内容や実施時期について

- ・今回の時期でよい。
- ・この時期の1回でいいと思います。
- ・アンケート自体は適切である。本年度より実施回数を減じたが、残念ながら3年生（選択物理I）では、回答に真剣さがあまりみられない生徒が多かった。授業評価に対する意識付けを再度すべきだったと反省している。
- ・適切である。
- ・今年度から1学期の実施がなくなり、この時期で良いと感じた。

① 学校評価アンケート

平成25年12月 実施

香川県立三豊工業高等学校

[生徒]

回収人数	286	回収率	99%
------	-----	-----	-----

A: 当てはまる B: やや当てはまる

C: あまり当てはまらない D: 当てはまらない

		[生徒]			
評価内容		A	B	C	D
1	本校の教育方針を知らされている。	79 (28%)	144 (50%)	50 (17%)	13 (5%)
2	先生方は基礎・基本が身につく授業をしている。	83 (29%)	180 (63%)	19 (7%)	4 (1%)
3	分かりやすく、学習意欲のわく授業が行われている	42 (15%)	166 (58%)	69 (24%)	9 (3%)
4	各種資格取得や検定試験に向けてよく指導がなされている。	161 (56%)	109 (38%)	15 (5%)	1 (0%)
5	規則正しい生活をする事、きまりを守る事の指導がきちんとできている。	114 (40%)	147 (51%)	21 (7%)	4 (1%)
6	交通指導や防災訓練など安全教育を熱心に行っている。	104 (36%)	138 (48%)	40 (14%)	3 (1%)
7	保健だよりや保健室の利用など健康管理がきちんと行われている。	103 (36%)	151 (53%)	29 (10%)	2 (1%)
8	学校行事・生徒会活動や部活動は活発に行われている。	129 (45%)	132 (46%)	23 (8%)	1 (0%)
9	LHRや人権映画・講演会等を通じて人権・同和問題についての理解が深まった。	99 (35%)	163 (57%)	21 (7%)	3 (1%)
10	就職・進学するための進路指導が十分におこなえており、適性に応じた進路実現ができている。	143 (50%)	118 (41%)	23 (8%)	2 (1%)
11	食堂のメニューや自動販売機など利用しやすい。	129 (45%)	110 (38%)	33 (12%)	14 (5%)
12	施設・設備が充実していて、よく整備されている。	55 (19%)	122 (43%)	80 (28%)	29 (10%)
13	ものづくりを通して地域交流など、特色ある教育活動に熱心に取り組んでいる。	106 (37%)	151 (53%)	23 (8%)	6 (2%)
14	保護者や地域に情報をよく発信し、開かれた学校づくりに取り組んでいる。	87 (30%)	160 (56%)	34 (12%)	5 (2%)
15	PTA活動は適切である。	53 (19%)	175 (61%)	49 (17%)	8 (3%)
16	総合的に見て、本校の教育活動に満足している。	70 (24%)	162 (57%)	42 (15%)	12 (4%)
合計		1557 (34%)	2328 (51%)	571 (12%)	116 (3%)



② 学校評価アンケート

平成25年12月 実施

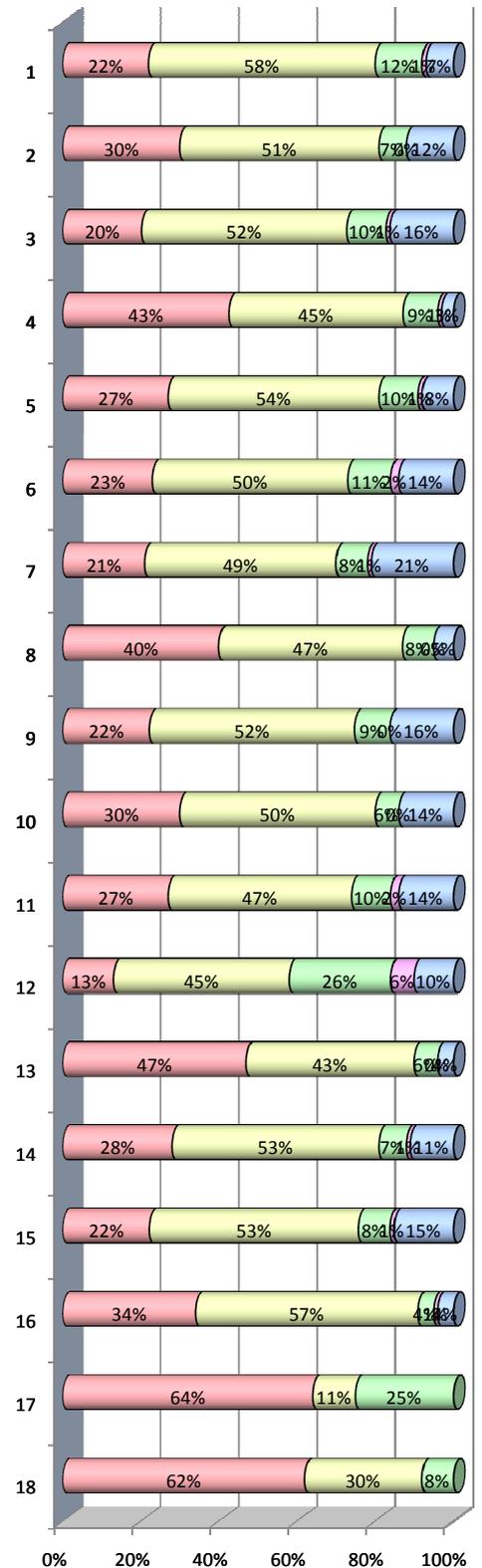
香川県立三豊工業高等学校

【保護者】

回収人数	287	回収率	99%
------	-----	-----	-----

A: 当てはまる B: やや当てはまる C: あまり当てはまらない D: 当てはまらない E: よく分からない。

		【保護者】				
評価内容		A	B	C	D	E
1	学校の教育方針がわかりやすく周知されている。	63 (22%)	166 (58%)	34 (12%)	4 (1%)	20 (7%)
2	学校では基礎・基本が身につく授業をしている。	85 (30%)	146 (51%)	21 (7%)	0 (0%)	35 (12%)
3	生徒の理解度にあわせた授業が行われている。	57 (20%)	149 (52%)	30 (10%)	4 (1%)	47 (16%)
4	各種資格取得や検定試験に向けて熱心に取り組んでいる。	122 (43%)	129 (45%)	25 (9%)	2 (1%)	9 (3%)
5	基本的な生活習慣の確立や規範意識を育てることに努めている。	78 (27%)	154 (54%)	28 (10%)	2 (1%)	23 (8%)
6	交通指導や防災訓練などを含め安全教育を熱心に行っている。	67 (23%)	143 (50%)	32 (11%)	5 (2%)	39 (14%)
7	保健だよりや保健室の利用など生徒の健康管理がよくできている。	60 (21%)	140 (49%)	24 (8%)	3 (1%)	59 (21%)
8	学校行事・生徒会活動や部活動は活発に行われている。	115 (40%)	134 (47%)	23 (8%)	1 (0%)	14 (5%)
9	保護者版たよりやPTA総会等の話により人権・同和問題に関する情報が適切に提供されている。	63 (22%)	147 (52%)	27 (9%)	1 (0%)	47 (16%)
10	学年に応じた進路指導が適切に行なえており、生徒それぞれに合った進路実現ができている。	87 (30%)	144 (50%)	17 (6%)	0 (0%)	39 (14%)
11	食堂・自動販売機など生徒の厚生は適切である。	77 (27%)	134 (47%)	30 (10%)	6 (2%)	40 (14%)
12	施設・設備が充実していて、よく整備されている。	38 (13%)	128 (45%)	73 (26%)	17 (6%)	30 (10%)
13	ものづくりを通して地域交流など、特色ある教育活動に熱心に取り組んでいる。	134 (47%)	123 (43%)	17 (6%)	1 (0%)	11 (4%)
14	保護者や地域に情報をよく発信し開かれた学校づくりをしている。	80 (28%)	151 (53%)	21 (7%)	2 (1%)	32 (11%)
15	PTA活動は適切である。	64 (22%)	153 (53%)	23 (8%)	3 (1%)	44 (15%)
16	総合的に見て、本校の教育活動に満足している。	98 (34%)	163 (57%)	11 (4%)	3 (1%)	11 (4%)
17	毎月発行している、三豊工だよりを読んでいますか。	178 (64%)	32 (11%)	69 (25%)	17,18は A: はい B: いいえ C: 知らない	
18	携帯電話版の連絡・お知らせ用掲示板を見たことがありますか。	171 (62%)	83 (30%)	23 (8%)		
合計		1288 (28%)	2304 (50%)	436 (10%)	54 (1%)	500 (11%)



③ 学校評価アンケート

平成25年12月 実施

香川県立三豊工業高等学校

【教職員】

回収人数	37	回収率	100%
------	----	-----	------

A: 当てはまる B: やや当てはまる C: あまり当てはまらない D: 当てはまらない

		【教職員】				
評価内容		A	B	C	D	
1	本校の教育方針がわかりやすく示されている。	18 (49%)	17 (46%)	2 (5%)	0 (0%)	1
2	基礎・基本の定着を心がけた授業ができている。	15 (41%)	22 (59%)	0 (0%)	0 (0%)	2
3	指導の方法や教材教具の活用の仕方を工夫している。	8 (22%)	27 (73%)	2 (5%)	0 (0%)	3
4	各種資格取得や検定試験に向けて十分に指導できた。	18 (49%)	16 (43%)	2 (5%)	1 (3%)	4
5	基本的な生活習慣の確立や規範意識を育てることができている。	8 (22%)	21 (57%)	7 (19%)	1 (3%)	5
6	交通指導や防災訓練などを含め安全教育を熱心に行っている。	10 (27%)	24 (65%)	3 (8%)	0 (0%)	6
7	保健だよりや保健指導などにより生徒の健康管理に努めている。	7 (19%)	29 (78%)	1 (3%)	0 (0%)	7
8	学校行事・生徒会活動や部活動は活発に行われている。	17 (46%)	18 (49%)	2 (5%)	0 (0%)	8
9	現職教育やたより等により人権・同和問題に関する情報が適切に提供されている。	17 (46%)	19 (51%)	1 (3%)	0 (0%)	9
10	就職・進学するための進路指導が十分におこなっており、適性に応じた進路実現ができている。	20 (54%)	15 (41%)	2 (5%)	0 (0%)	10
11	食堂・厚生係は適切に取り組んでいる。	9 (24%)	24 (65%)	4 (11%)	0 (0%)	11
12	施設・設備の整備や充実は図られている。	3 (8%)	20 (54%)	14 (38%)	0 (0%)	12
13	ものづくりを通して地域交流など、特色ある教育活動に熱心に取り組んでいる。	30 (81%)	7 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	13
14	保護者や地域に情報を発信し開かれた学校づくりに取り組めた。	16 (43%)	17 (46%)	4 (11%)	0 (0%)	14
15	P T A活動は適切である。	9 (24%)	27 (73%)	1 (3%)	0 (0%)	15
16	総合的に見て、本校の教育活動はよい。	19 (51%)	16 (43%)	2 (5%)	0 (0%)	16
合計		224 (38%)	319 (54%)	47 (8%)	2 (0%)	17

